

# 救難所だより

## 新設救難所の紹介

海難救助活動の拠点となる新たな救難所が新設されています。今回は、10カ所の新設救難所を紹介します。なお紹介文は、それぞれの救済会および救難所からいただきました。

### 千葉県水難救済会



#### 館山船形救難所

平成21年1月1日設立 所長以下12名

館山船形救難所は、南総里見八犬伝のモデルとなった戦国大名里見氏ゆかりの史跡などが残る歴史とロマン漂う館山市内にあります。

近年はマリネジャーが普及し、特にプレジャーボートが増加したことに伴い、救難組織の充実が急務となり救難所の設立となりました。

### 東京都水難救済会



#### 三宅島救難所

平成21年4月1日設立 所長以下71名

三宅島と八丈島では以前から漁業協同組合員のボランティアによる海難救助活動を行ってきましたが、町など行政からの支援体制が整っておらず、その必要性を感じていました。

昨年度、下田海上保安部による各島への定期巡回の際に、救難所の設置及び活動についての説明を受け、その結果、後日改めて救難所設置を申し入れました。

三宅島においては、平成21年4月1日付けで三宅島救難所が開所され、6月1日には開所式及び人命救助訓練などが開催されました。なお、八丈島においては、現在、体制についての調整を行っており、それが整い次第、開所する予定です。

### 岡山県水難救済会

岡山県水難救済会（会長 黒田晋：玉野市長）では、近年のマリネジャーの普及とともに、県下最大の海水浴場である渋川地区等3箇所において、救難所の設置の準備を進めてまいりましたが、この度、関係者のご協力により、新たに3救難所を設置することとなりました。



#### 岡山ライフセービングクラブ救難所

開所式での集合写真 平成21年5月1日設立 所長以下31名

岡山ライフセービングクラブは、主に渋川海水浴場などの海浜で活動されており遊泳者の監視活動、海浜での清掃活動等を行っています。

平成21年6月27日には、渋川海水浴場の海開きに併せて「岡山ライフセービングクラブ救難所」の開所式を行い、岡山水難救済会会長から救難所長に対し救難所看板、会旗、AED（自動体外式除細動器）等の救難資機材の授与が行われました。その後、同救難所員等による沿岸海難救助訓練が実施されました。



#### 小串漁業協同組合救難所

開所式での看板とAED等の授与 平成21年5月1日設立 所長以下14名

小串漁業協同組合は、小串港内に所在しており、隣接する周辺海域には、浅瀬、定置網及びのり養殖網が設置されており、熟知していないと二次海難の発生も危惧される海域でもあり、これまでも岡山港内及び隣接する海域等の海難事案に中心的に対応してきた実績があります。



#### スズキマリーナ神島レスキューステーション

平成21年5月7日設立 所長以下4名

スズキマリーナ神島レスキューステーションは、笠岡市に所在する東中国スズキ自動車株式会社が経営しているマリーナであり、かねてから、笠岡市周辺に救難所がないことから、笠岡市周辺で、当会の趣旨に賛同していただける団体を模索していたところ、今回賛同を頂き救難所として設置されたものです。

### 香川県水難救済会



庵治救難所 平成21年7月13日設立 所長以下163名

内海救難所 平成21年7月13日設立 所長以下99名

四海救難所 平成21年7月13日設立 所長以下76名

香川県水難救済会は、今年5月に本会多度津救難所白方支所が海難救助の功績を認められ日本水難救済会名誉総裁表彰を受賞したこと、本会の会長に琴陵泰裕氏（金刀比羅宮禰宜）が就任されること等がきっかけとなり、高松市所在の「庵治漁業協同組合」、小豆島町所在の「内海町漁業協同組合」及び土庄町所在の「四海漁業協同組合」が本会の趣旨に賛同し、平成21年7月13日の総会において、新会長から、高松海上保安部長、日本水難救済会理事長等の顧問・来賓が見守るなかで、庵治救難所、内海救難所、四海救難所の救難所設置承認書が交付されました。

この3救難所が入会したことにより、本会は、7救難所1支所（救難所員419名）となり、高松市北東海域及び小豆島周辺で発生した海難への出動が可能となり、香川の海の家難救助体制が格段に強化されました。

今後、香川県西部海域についても、マリーナ、漁協等に対して、水難救済会の趣旨に賛同していただけるように働きかけ、救難所の拡充を進めていきます。

### 長崎県水難救済会



#### 中野救難所

平成21年4月6日設立 所長以下37名

今回、救難所を開設して間もなく平戸では巻き網漁船の海難事故が発生し、捜索活動を実施しました。マスコミ関係の必要以上の取材には手を焼いたところもありましたが、我々は海に生きる者としてボランティア捜索活動には参加する義務があると常々心に持ち続けています。このような事故が二度と起きないことを祈ります。

### 鹿児島県水難救済会



#### 志布志市救難所

平成21年4月1日設立 所長以下241名

志布志港は南九州の物流拠点港湾として、CIQ機能（税関、入国管理、検疫）を備えた九州唯一の中核国際港湾として、そして、日本有数の農畜産地帯への飼料供給基地として大きく発展しているところです。また、志布志港新若浜地区に多目的国際ターミナルの整備が進められています。

その一方で、志布志湾沿岸海域においては、釣りなどによる堤防や磯からの転落による人身事故やボートの衝突等の船舶事故が発生しており、今後もこれらの海難事故等が増えることも心配されることです。

このようななか、本市では海難事故における人命救助を行うボランティア団体として、志布志市救難所の設立に向けて、志布志海上保安署の協力のもと関係団体と協議を進めてまいりました。そして、漁業組合、消防団、小型船舶安全協議会、小型船舶同志会、曾於ダイビングセンター、釣船主会の6団体により、平成21年4月1日に所員合計241名で、鹿児島県内では40番目の救難所の設立となりました。

## 海難救助訓練

平成21年度の海難救助訓練指定数は、「救助訓練実施要領平成21年度版」で各県水難救済会別に合計で277件が指定されています。ただし、予算の範囲内であれば、指定数を越えて訓練を実施しても助成金を交付することが可能ですので、できるだけ多く訓練を行うようお願い致します。

訓練の実施要領としては、毎年配布する当該年度版の訓練実施要領のほか、「救難所員訓練必携」と「海難救助作業マニュアル」を各救難所に配布しておりますが、日本版の救急蘇生ガイドラインが変更になっていることや救難資器材の型式が新しくなっていることから、これに対応して平成21年2月に改訂版を作成し、4月に各県水難救済会に救難所分も含めて配布しましたのでご利用ください。

なお、平成20年度に行われた訓練の実績は、全国37の地方水難救済会において、延べ317の救難所、支所から5,764人の救難所員が参加して実地訓練が行われました。



秋田県水難救済会

平成21年7月11日、秋田県男鹿市戸賀港において「第43回海難救助訓練大会」が開催されました。同大会には、9箇所の救難所、男鹿消防本部、秋田県消防防災航空隊、巡視艇「すぎかぜ」が参加し、救命索発射操法、ゴムボート操法、もやい綱投てき、心配蘇生法の競技に取り組みました。また、海難救助合同訓練や海難事故防止（ライフロープ）活動を実演しました。



北海道漁船海難防止・水難救済センター

北海道久遠救難所では、上浦支所、太田支所、久遠支所も参加して平成21年4月24日、せたな町上浦漁港において合同訓練を行いました。来賓に町長、消防団団長、漁協組合長、せたな警察署駐在所、瀬棚海上保安署長を招き、瀬棚海上保安署の

指導で基本動作、もやい銃による孤立者救助訓練、人形を使用した心肺蘇生訓練、消防ポンプを使用した火災船救助訓練を行い、瀬棚海上保安署長から基本動作、応用訓練動作が概ね的確で総合的に良好との講評をいただきました。



福島県水難救済会

平成21年8月4日、いわき市久之浜漁港において、久之浜、四倉、沼之内、豊間の各救難所、福島県漁連、福島県水救会事務局、福島県水産事務所、福島保安部陸上職員、巡視船「なつい」を含む合計70名、船艇2隻が参加しての合同訓練を実施し、水難救済会の活性化、海難救助の知識・技能の向上、官民各救助機関の連携を図りました。



岡山県水難救済会

平成21年6月19日、岡山市南消防署救急救命士他2名および玉野海上保安部救難係2名を講師に迎え、小串漁業協同組合にて「普通救命講習会」を実施しました。救助員14名、他4名の受講者は、AEDを使用しての心肺蘇生法等の講習に取り組みました。



山形県水難救済会

平成21年7月18日、酒田市大浜海岸において、酒田、袖浦、宮海の3救難所の救助員68名が参加し、水難救助合同訓練を実施しました。訓練では、ゴムボート操法、もやい銃発射、心肺蘇生法の各訓練及びこれらの訓練に想定船排水・消火作業訓練を加えた総合海難救助訓練を実施しました。



琉球水難救済会

平成21年6月18日、沖縄県恩納村のサンマリーナ前面海域において、「恩名・読谷地区救難所所員合同訓練」を実施しました。参加したのは、サンマリーナホテル、リザンシーパークホテル、ムーンビーチ、ルネッサンス、万座ビーチ、残波ビーチ、そして恩名を加えた7つの救難所から合計20名。心肺蘇生やAED取扱い訓練、2人の行方不明者を想定した救助訓練を行いました。



大分県水難救済会

平成21年7月20日の「海の日」に行われた大分海上保安部主催の「合同沿岸海難救助訓練」に参加しました。大分海上保安部、大分県スキューバダイビング安全対策協議会、磯釣連盟、水上オートバイ（エフカンパニー）が参加し、総勢115名により訓練が行われ、水難救済会は、海中転落者救助訓練、機関故障船曳航訓練、火災船曳航訓練、海中転落者捜索訓練を行いました。また、この日、青い羽根募金への協力を呼びかけ多数の方から募金をいただきました。